



「錦の日」特別プログラム 藤原 和博氏による特別授業

来る2月5日(水)の「錦の日」は著名な外部講師の方をお迎えして1年生と2年生が特別授業を受けます。お二人の講師をお迎えしますが、そのうち1年生の授業を保護者の方、地域の方に公開します。

＜プロフィール＞

1955年東京生まれ。東京大学経済学部卒業後、株式会社リクルート入社。東京営業統括部長、新規事業担当部長などを歴任後、ヨーロッパ駐在、そして同社フェローとなる。

2003年より5年間、都内では義務教育初の民間校長として杉並区立和田中学校校長を務めた後は、橋下大阪府知事特別顧問、武雄市特別顧問、奈良市立一条高校校長として活躍し、現在講演は1500回を超え、延べ25万人以上を動員する人気講師。

アクティブラーニングの手本となった「よのなか科」が『ベネッセ賞』、地域活性化手段として「和田中地域本部」が『博報賞』、給食や農業体験を核とした和田中の「食育」と「読書活動」が『文部科学大臣賞』をダブル受賞し一挙四冠に。

本業は義務教育改革。教育界に蔓延る「正解主義・前例主義・事勿れ主義」を排して、一斉授業を超える新しい仕組みづくりに奔走。生徒所有のスマホを授業に活かして奈良市立一条高校を「スーパー・スマート・スクール(SSS)」化。「よのなか科」が手本となっているアクティブラーニングやマネジメントを教える「校長先生たちの校長」としての役割も担う。

日時：2月5日(水) 13:05～13:55
場所：仙台市立錦ヶ丘中学校 体育館

新年の抱負

私の新年の抱負は、「今を楽しむ」です。理由は2つあります。

1つ目は、物事は何でも楽しんだもの勝ちだと思うからです。私は去年、人生についてたくさん悩みました。それは、1日の半分以上は人生について考えるくらいでした。自分で悩みから抜け出そうとたくさんの本を読んだり、人の話を聞きました。そこから出た私の答えは、人生は一度きりで、これから起こることは誰にもわからない、だからこそ今しかできないことを存分に楽しむべきだということです。だから、今しかできないことをして、後からあんなことがあったなと楽しく思い返せる人生にしたいです。

そして、2つ目の理由は、将来自分の人生を語れるかっこいい人になりたいからです。今までたくさん人の話を聞いて、皆、違う話をしていたが、笑顔で自分の人生を語っていることが共通していかっこいいなと私は思いました。自分の人生を語るのはすごいことだと思うし、たくさんのかたちを経験した人にしかできないことだと思うので、私も今たくさんのかたちを経験して自分の人生を語れる人になりたいです。

これらの2つの理由があって、私の新年の抱負は「今を楽しむ」になりました。悲しいこと、嬉しいことなどのたくさんのかたちがあるからこそ人生は成り立つと私は思いますが、ひとつのことだけに縛られてしまったら、それは意味のある人生ではないと思います。だから、たくさんのかたちを経験して楽しめば、私が老人になってから「矢作美陽」として生まれてこれて良かったな、最高の人生だったなと思えると思います。